

〈今月の紙面〉

- ・「食料・農業 知っておきたい話」-132-(2面)
- ・開拓当時の厳しい生活を展示 (熊谷元一写真美術館) (3面)
- ・青森で5年ぶりの研修会 (4面)
- ・農場拝見 ㈱重富畜産 (宮崎) (5面)
- ・「畝立て同時乾田播種機」登場 (6面)
- ・雇入れ時教育、農業も全項目義務化 (7面)
- ・畜産物需給見通し (8面)

開拓情報

発行所
 公益社団法人全国開拓振興協会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10
 TEL 03-6268-9995
 FAX 03-6268-9996
 ホームページ https://www.kaitakusya.or.jp
 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

24年度予算成立 過去二番目

農林水産関係は3億円増

24年度の予算が3月28日の参院本会議で与党などの賛成多数で可決、成立した。

一般会計総額は112兆5717億円となった。2年連続で110兆円を超え、過去2番目の規模となった。

農林水産関係は、2兆2686億円(前年より3億円増)を計上した。主な項目は次のとおり。

水田活用の直接支払交付金等3015億円(同35億円減)

水田での戦略作物の本作化、畑地化による高収

益作物等の導入・定着、大豆の国産シェア拡大に向けた作付けの団地化、ブロックローテーション、保管施設の整備、商品開発等の取り組みを支援。

商品開発等の取り組みを支援。

意欲ある生産者が経営を継続し、その発展に取組める環境を整備するため、畜種ごとの特性に応じた、マルキン等の畜産・酪農経営安定対策を実施。

戦後開拓農家の苦労が歌に

花地蔵物語合唱団が歌唱

福島第一原子力発電所事故の被災者には、戦後開拓農家が非常に多い。被災から13年が経つても線量が下がらず、現在もなお開拓地に戻れない人々が沢山いる。

原発訴訟の中でも特に規模の大きい「津島原発訴訟」の原告団にも戦後開拓農家が多い。作詞や劇にする中で、現在の

家の大門高子氏(78歳)が開拓農家に取材を重ね、およそ100年にわたる津島の人々の苦難を1時間の組曲にした。

◇大門高子氏のプロフィール

大門氏は元教師で、教え子たちと一緒に公害に苦しむ人々の出来事を歌や劇にする中で、現在の

作詞家へと転業した。「二度と教子を戦場に送らない」という、教員時代の仲間の先生方と共有した誓いや、災害時に苦しむ人々に寄り添いたいという気持ちが、大門さん

の原動力となっている。

福島県二本松市での昨年5月31日のプレレコネサートを経て、1月19日、東京都小金井市で、『福島津島村に心をよせて「花地蔵物語」―満蒙・開拓・原発―』と題した演奏会が行われた。

一部「棄民」を語る「花地蔵物語」の理解のために、

開拓2世である三瓶春江さんが、開拓当時の苦勞や原発事故後の苦難を涙ながらに語った。



涙ながらに講演をした春江さん(左)

旧満州で憲兵をしていた春江さんの父と、終戦後の混乱の中、母は離れ離れに。母は密航船に身を潜め、死と隣り合わせの中でどうにか帰国。父は4年間のシベリア抑留の間に、ベルトコンベアによる負傷で右腕を失い、日本への帰国となった。

◇限界の状況の中での開拓

帰国後、戦後開拓に従事しつつも、父は酒乱で度々暴れて、母をいじめていた、と春江さんは語った。父のことが大嫌いだ。母から「お父さんは戦争の犠牲者なんだよ」と言い聞かされて育った。

そんな荒んだ状況でも、春江さんの両親は夜明けとともに起きて日暮れとともに帰り、必死で開拓に励んだ。生後4カ月で入植した春江さんだ



演奏会の様子

写真提供：全て大門高子さん

つになつたら津島に帰れるのかと尋ねたところ、担当者は平然と「100年ばかりか」と答えたという。

未来の世代に開拓地を引き継げるよう、春江さんたちは厳しい闘いを続ける。何度もマスコミなどの取材対応をしてきた春江さんの自宅は、防護服がなければ近づけない。また。

「戦後も原発も再び繰り返すことがないよう、本当に皆さんで考えなければいけない問題。人の命の尊さを忘れてはいけません。そんな思いで作り上げられた「花地蔵物語」合唱団の皆さんは、住民の苦しみや悲しみを表現しようと、ご苦労されている。大変な思いをしながらも、この花地蔵を作り上げようとする思いに、私たち津島住民は、感動と感謝でいっぱい」と春江さんは涙ながらに語った。

原発事故で帰れなくなった津島の住民約1400人のうち、半分近くが戦後開拓農家だ。国の説明会で津島原告団が「いりも組み合わせてあり、

「第一部 満蒙開拓編」では、戦前から戦後にかけての、集団自決などの悲劇が表現されている。

「第二部 福島浪江町津島地区編」では、戦後開拓から、原発事故の現在まで続く苦悩を歌詞にして訴えかけている。

その中の「津島の戦後開拓」では、寸劇で、「部落の人たちも最初の頃は視線も冷たかった。役場からも死んだことになされ、墓まで建てられていた人もいた」とにか

だったが、物心が付く頃になつても、白い飯はお客さんが来た時しか食べられなかったという。

いつも蒸したジャガイモ、サツマイモや、茹でたトウモロコシが夕飯という生活。また、綿布団では眠ったことがなかった。藁をすくって作った粗末な布団だったため、夜は本当に寒かった。

◇開拓地を襲った3・11

終戦後の人が住めないような場所を、農業・林業・酪農ができるように、と作り上げたのが、開拓地だった。

開拓が軌道に乗り、開拓者と地元の人と一緒に作ったコミュニティもでき、お互いを思いやる故郷が作られていった。また、引き揚げ時に子どもを亡くした親が地域の孤児を村で一緒に育てたりと、みんなで協力して生

「花地蔵物語合唱団」には体調が悪く椅子から立てないメンバーもいたが、「これを歌ってからでなければ死ねない」と、練習には参加していた。練習には参加できなかったメンバーもいた。

冬は凍り付く寒空の下、笹の葉の屋根、藁布団に冷たい風吹きぬけて、厳しい日もあった。

木の葉芽吹く春は笛とび胸に灯る夏も紅葉に心燃える秋とぼたん雪舞う冬に

懐かしく変わりゆく故郷の村(×3回)

戦後開拓当時の苦勞が歌われた後には、原発に催される「真夏の夜の平和コンサート」の中で同合唱団が歌を披露する。福島県での公演も予定されている。

8月27日にも、いずみホール(国分寺市)で開催される「真夏の夜の平和コンサート」の中で同合唱団が歌を披露する。福島県での公演も予定されている。

「花地蔵物語合唱団」は、住民の苦しみや悲しみを表現しようと、ご苦労されている。大変な思いをしながらも、この花地蔵を作り上げようとする思いに、私たち津島住民は、感動と感謝でいっぱい」と春江さんは涙ながらに語った。

原発事故で帰れなくなった津島の住民約1400人のうち、半分近くが戦後開拓農家だ。国の説明会で津島原告団が「いりも組み合わせてあり、

「第一部 満蒙開拓編」では、戦前から戦後にかけての、集団自決などの悲劇が表現されている。

「第二部 福島浪江町津島地区編」では、戦後開拓から、原発事故の現在まで続く苦悩を歌詞にして訴えかけている。

その中の「津島の戦後開拓」では、寸劇で、「部落の人たちも最初の頃は視線も冷たかった。役場からも死んだことになされ、墓まで建てられていた人もいた」とにか



◇「大地震FUKUSIMA原発事故」歌詞 見えない放射能 悪魔の風が風下に流れた 危険な風だと誰も伝えてはくれなかった

本紙は無償で提供しています。ご希望の方はお知らせ下さい。

食料・農業 知っておきたい話 第132回 改定「基本法」は食料・農業・農村を救うか

東京大学大学院教授 鈴木宣弘氏

Chapter 1

今何が求められて
いるのか

全国の農村を回っていると、高齢化が進み、農業の後継ぎがない、中
心的な担い手も耕作を頼まれても引き受けきれなくな
り、耕作放棄地が増えている深刻さを目の
当たりにする。

農業従事者の平均年齢が68・4歳という衝撃的
数字は、あと10年足した
ら、日本の農業の担い手
が極端に減少し、農業・
農村が崩壊しかねない、
ということを示してお
り、さらに、今、肥料・
飼料・燃料などのコスト
高を販売価格に転嫁でき
ず、赤字に苦しみ、酪農
・畜産を中心に廃業が後
を絶たず、崩壊のスピ
ドは加速している。

一方で、中国などの需
要増加、異常気象の通常
化、紛争リスクの高まり
などで、海外からの食料
・生産資材の輸入が滞る
リスクが高まっている。



お金を出せばいつでも
輸入できる時代ではなく
なった今、不測の事態に
国民の命を守る食料を十
分に供給できるのが懸
念される。

◇
そういう中で、25年ぶ
りに食料・農業・農村の
「憲法」たる基本法が改
定されることになった。

◇
基本法の見直しを今やる
意義とは、世界的な食料
需給情勢の悪化と国内農
業の疲弊を踏まえ、不測
の事態にも国民の命を守
れるように国内生産への
支援を早急に強化し、国
民が必要とし消費する食
料は、できるだけ国内で
生産する(国産国産)た
り、食料自給率を高め
る抜本的な政策を打ち出
すためだ、と考えられ
る。

◇
新基本法は食料安全保
障の確保の必要性を掲げ
ている点で評価される
が、それをどう達成する
のかについての内容が問
われる。

◇
新基本法の原案には食
料自給率という言葉がな
く、「基本計画」の項目
で「指標の1つ」と位置
付け、食料自給率向上の
抜本的な対策の強化など
は言及されていないかっ

◇
食料自給率は生産要素

生産要素・資材の確保状況
は自給率に統一される構
成要素であることが理解
されていない。
戦後の米国の占領政策
により米国の余剰農産物
を受け入れて食料自給率
を下げていくレールに乗
せられた我が国は、これ
までも「基本計画」に基
づく自給率目標を5年ご
とに定めても、一度もそ
の実現のための行程表も
予算も付いたことがなか
った。

◇
具体的には、ほぼ10
0%輸入に頼っている肥
料を考慮すると実質自給
率は22%、さらに、野菜
だけでなくコメなどの種
の自給率も10%に低下
すると、実質自給率は9
・2%という試算ができ
る。

◇
つまり、生産要素の確
保状況が問題なのはその
とおりであるが、それを
考慮すると実質自給率が
低下する形で、自給率と
一体的な指標であり、す
べてを勘案した総合・実
質自給率を高めることが
重要なのである。

◇
だから、生産要素の国
内での確保状況、その自
給率が大切な指標である
ことは間違いないが、そ
れと食料自給率という指
標は独立してあるわけで
なく、飼料以外の生産要
素も飼料と同様に勘案す
ることによって実質自給率
算されるものであり、生

◇
「国民一人一人
が入手できること」を強
調しているが、それはも
ちろん大事だが、そのた
めには、まず、総量とし
ての自給率の確保が必要
であり、分配を改善する
には、政府による低所得
層の食料アクセスの支援
施策の強化などが明記さ
れるべきではないのか。

◇
「次回に続く」

飼料用大豆TMRの実証事業

50a当たり150万円助成

飼料用大豆は栄養価が
高く、注目を浴びている
品目である。

◇(一社)日本草地畜産種
子協会は現在「飼料用大
豆・高栄養TMR生産調
製技術の実証・普及事業」
をJRAの畜産振興事業
により実施している。

飼料用大豆は栄養価が
高く、積極的に事業を活
用していきたい。事業の
概要を紹介する。

◇イネ科牧草の利
用
TMRのタンパク源と
して欠かせない大豆粕や
アルファルファ乾草は多
くが輸入されてきたが、
価格の高騰や、将来的に
安定的な輸入が不透明な
り、多くの懸念材料があ
る。

◇
国産の大豆は日本の気
象環境にも適しており、
飼料用に活用できれば飼
料の国内自給の一助とな
るが、利用できる農業が
出た。

◇
この事業ではイネ科
牧草を抑制するホー
ルクロップサイレ
ージ利用するため、畜種
は主に酪農・肉用牛であ
るが、積極的に応募した
り、

◇
応募は本年の大
豆播種の1ヵ月前
ころまでに！
実施要領は図のとおり
24年度までの事業で
なっている。

◇
1事業体もしくは1農家
当たり(原則50a以内)
はありますが、50aを超え
る畑でも可となる場合があ
る。上限は150万円と
なっている。

飼料用大豆・高栄養TMR生産調製技術の実証・普及事業

- 事業内容
リビングマルチを活用した飼料用大豆の実証
- 支援対象者
飼料作物の収穫作業等を受託するコント
ラクターやTMRの調製・供給を行うT
MRセンター又はこれに準ずる者
- 支援対象の費目
右表のとおり
- 支援期間
播種準備から収穫調製、結果取りまとめ
まで
- 手続き
下記までご連絡ください(担当：橋本)
TEL :03-3251-6501
MAIL:r-hashimoto131@souti-fsa.or.jp

費目	概要
ほ場借上料	実証圃の借上げ料
消耗資材費	牧草・飼料用大豆種子、肥料、農業等購入費
賃借料	大豆不耕起播種機、ディスクハロー等借料
実証調査ほ看板費	看板作成・設置費
作業費	コントラクター等による作業料、作業賃金
調製資材費	サイレージ調製用ラップ、発酵促進剤等
役務費	飼料一般成分分析費
旅費	研究機関等調査打合せ旅費
報告書作成	賃金、消耗品

○上限額
原則として1箇所当たり150万円

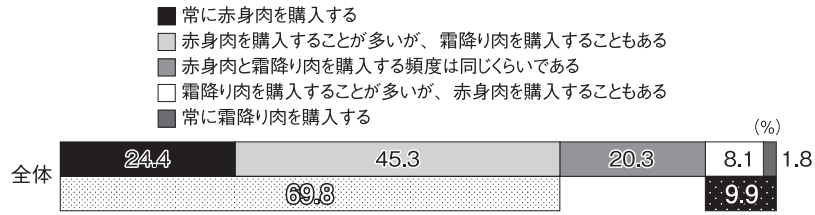


実際の実証中のほ場の様子
写真提供：(一社)日本草地畜産種子協会

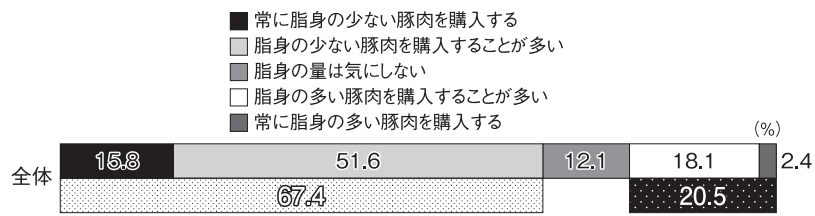
あるため、大豆播種期を
考慮し、概ね5月上旬頃
が最終受付となる。
対象は、リビングマル
チを活用した飼料用大豆
の実証に取り組むコント
ラクターや生産者で、全
国が対象となる。
個人農家も応募するこ
とが可能だが、応募の場
合には何らかの形で「コ
ネクトラクター」が飼料用
大豆の生産過程に関わっ
ていることが要件とな
る。

大豆をTMR原料とし
てホールクロップサイレ
ージ利用するため、畜種
は主に酪農・肉用牛であ
るが、積極的に応募した
り、
なお、補助率は定額で、
1事業体もしくは1農家
当たり(原則50a以内)
はありますが、50aを超え
る畑でも可となる場合があ
る。上限は150万円と
なっている。

(図1) 牛肉を購入する際の赤身肉と霜降り肉の購入頻度



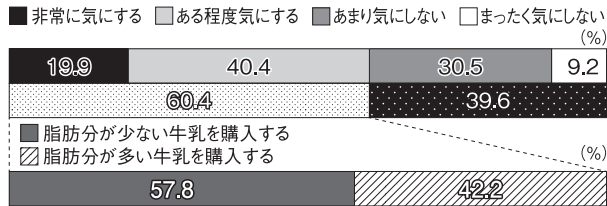
豚肉を購入する際の脂身の量



（株）日本政策金融公庫は、2月29日に24年1月の「消費者動向調査」、3月21日に同特別調査の「畜産物の購入について」の結果を公表した。ともに全国の20〜70代の男女2千人を対象に行った。

▼食に関する志向は、「健康志向」が45・7%、「経済性志向」が40・8%、「簡便化志向」が38・2%で、これらが三大志向となっている。前回調査から低下した。

(図2) 牛乳を購入する際の脂肪分の量



冬空に乾すおむつ

写真提供：熊谷元一写真画廊

開拓当時の厳しい生活の様子を展示 熊谷元一写真画廊で

戦後開拓当時の開拓者の生活風景を記録した写真は貴重である。

熊谷元一写真画廊（長野県下伊那郡阿智村）の創設者である熊谷元一氏が開拓者の生活風景を収めた写真が、「企画展」『戦後の開拓家族の生活展』と題して24年1月24日〜4月15日まで同館で展示された。

◆雪の中で布おむつを乾かす生活
阿智村では、伍和の青見平や智里西の京平、浪合の宮ノ原地区などで、戦後開拓が行われた。

◆展示された旧伍和村青見平の戦後開拓
伍和村は、46（昭和21）年に村と農業協会の協議し、県有林の一部下げと、民有山林原野の開放を受け、緊急開拓事業を受け、緊急開拓事業を世に引き継ぎたい。

同企画展では、旧伍和村青見平で、戦後開拓に従事した人たちの生活の様子を記録した写真50点を展示。展示された写真は全て、熊谷氏が当時の開拓地に赴き撮影したもの。

「冬空に乾すおむつ」と題した写真は55（昭和30）年1月に撮影したもので、雪が積もる厳しい寒さの中で布おむつを干す情景から、開拓に動んだ人々の暮らしの様子が窺い知ることができる。

牛・豚とも赤身志向が約7割 食品購入時の懸念「価格」トップ

食品購入時の懸念「価格」トップ

進めることを決定した。青見平の開拓用地は、標高750〜800m。54ha余りの土地を2つの地区に分け、「北青見平」に15戸、「南青見平」に8戸が入植した。入植者は、引揚者が15人、二男・三男が7人など、計23人だった。

開拓は47年から始まり、同年11月までに各戸10坪の住宅が共同作業で建てられた。開墾は手作業で行われ、計画面積約50haの開墾が概ね完了したのは53年だった。53年の冷害をはじめ、相次ぐ災害にも見舞われた。このような展示を機に、懸命に開拓に取り組んだ開拓農家の歴史を後世に引き継ぎたい。

農業景況天気図（22年実績、23年実績、24年通年見通し）

	22年実績	23年実績	24年通年見通し		22年実績	23年実績	24年通年見通し
農業全体	▲39.1	▲26.9	▲6.5	畑作	▲31.8	▲49.2	▲27.8
酪農（北海道）	▲87.7	▲56.8	▲11.9	露地野菜	▲15.5	▲17.5	1.1
酪農（都府県）	▲84.8	▲45.7	▲1.5	施設野菜	▲28.8	▲11.7	5.4
肉用牛	▲62.0	▲52.1	▲13.7	茶	▲15.5	▲31.2	▲3.8
養豚	▲74.2	▲31.7	▲30.3	果樹	▲7.7	▲2.7	16.0

肉用牛・酪農苦しく 23年景況調査

（株）日本政策金融公庫は3月14日、24年1月の「農業景況調査」の結果を公表した。融資先の担い手農業者6947先から回答を得た。

23年の農業景況DIは▲26・9で、22年実績からは上昇したものの依然マイナスだった。特に酪農北海道（▲56・8）、肉用牛（▲52・1）で大幅なマイナス値だった。24年の通年見通し（▲6・5）も依然マイナスだが、マイナス幅は縮小する見通しとなっている。また、生産コストDIは▲84・6だった。22年実績からは上昇したもの

開拓組織の動き

- 全開連人事 (3月31日付)
- 退職 水田淳一(西日本支所 福岡事業所) (4月1日付)
- ▽事業推進部(新規)
- 大谷正記▽東日本支所 東京事業所(新規)今直裁
- 全国開拓振興協会 理事会
- 17日 薩州開拓農協枝肉 共進会(熊本)
- 21日 全開連九州ブロック 参考会議(熊本)
- 25日 (一社) 岩手県開拓振興協会 通常総会 (岩手)
- 28日 岩手花平農協通常 総会 (岩手)

5月に予定されている開拓組織の主な行事は次のとおり。

ことから、畑作等に転換。中でもリンゴの栽培では大きな収益を得ることになった。

66年には湯田ダムが完成し、道路も整備され、展望の稲作が本格的に始まった。酪農家も稲作を考えるようになり、75年頃には酪農家が数戸に激減したこともあり、水田地帯に転じた。

しかし、間もなく米が生産過剰となり、減反が強いられることとなった。彼は開拓の過酷さを身近に感じており、開拓5年目に『開拓に寄す』という詩を贈っている。

幾多の転機を乗り越え、現在でも多くの開拓家族が暮らし、太田地区では、地元の振興会を通じて様々な地域活動を行っている。

幾多の転機を乗り越えて 岩手県花巻市・太田開拓



記念碑には高村光太郎の詩が刻まれている

53・54年の連年の冷害を機に、草

岩手県花巻市の太田開拓は、県中央部の花巻市西部に位置し、奥羽山脈（真昼山地）の東麓にある。標高は140mほどと比較的低いが、冬の降雪量は2mに迫る。

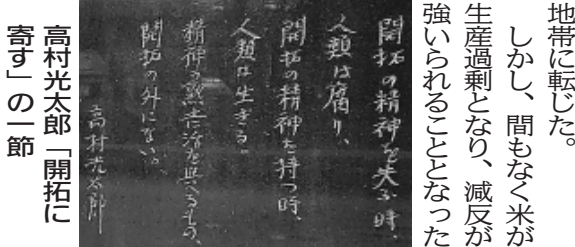
1946年5月に開拓団が発足し、58戸が入植した。県の助成で炭カスを撒いて何とか大豆・小豆も収穫できるようになった。

48年に太田開拓農事実行組合（後に、太田開拓農協、花巻市開拓酪農協、奥羽山麓酪農協に交遷）が発足した。

この土地は、松の木とカヤの生えた原野で、木の根や石を一鍬一鍬掘り出し、手作業で開墾を行った。しかし、土壌は強酸性で、豆科の作物はほとんど収穫できず、ライ麦や菜種などを主に栽培した。県の助成で炭カスを撒いて何とか大豆・小豆も収穫できるようになった。

48年に太田開拓農事実行組合（後に、太田開拓農協、花巻市開拓酪農協、奥羽山麓酪農協に交遷）が発足した。

53・54年の連年の冷害を機に、草



高村光太郎「開拓に寄す」の一節

青森で5年ぶりの研修会 東北開拓組織連絡協議会研修会

23年度東北開拓組織連絡協議会研修会が3月15日、青森県上北郡野辺地町のゆうき青森農協らによる管農センターで開催された(写真)。

東北地域の酪農家・肥育農家や開拓農協職員ら40名が参加した。同研修会はコロナ禍の影響で中止していたため、5年ぶりの開催となった。

開会に当たり、主催者佐藤氏は、東北地方における牧草・飼料作物への猛暑の影響を紹介。夏枯れや虫害、雑草による被害とその防除対策などを解説した。

発表に対し、自給飼料生産に取り組む参加者らは熱心に耳を傾け、有意義な研修会となった。

来年度は岩手県での開催を予定している。



村松氏が最優秀賞

肥後開拓農協枝肉共進会

肥後開拓農協は3月27日、熊本県錦町のゼンカは、組合員10戸から、それぞれ交雑種去勢牛1頭が出品された。

格付・審査の結果、最優秀賞は、村松俊昭氏の出品牛で、生後25カ月齢種雄牛「貴隼桜」、枝肉重量611.6kg、ロース芯面積52cm²、バラ厚8.8cm、BMS No.6、格付B4、歩留基準値69.7と、非常に立派な枝肉だった。



最優秀賞を受賞した村松克子さん

出品牛全体の成績は、平均枝肉重量が603.8kg、肉質3等級以上比率100%、4等級比率50%。各測定値の平均は、ロース芯面積53.6cm²、バラ厚8.8cm、BMS No.4.8、歩留基準値69.2だった。

枝肉重量は全国平均

(544.2kg)より約60kg大きく、3等級以上び筋脂肪等の厚いもの比率も全国平均(71.5%)よりも優れており、非常に高い成績となった。

入賞牛の出品者は次のとおり。

審査講評では「申し分ない枝肉重量で、全体的に三角バラのサシ・厚み

最優秀賞 村松俊昭
優秀賞 中西義信
優良賞 山下美次

開拓組織の新しい仲間

①



今直哉

全開連

神奈川県出身

皆さんの力になれるように精一杯頑張ります！



大谷正記

全開連

東京都出身

早く仕事を覚えてお力になれるように頑張りたいです。よろしくお願いたします。

イソシンファーム(栃木)が報告 担い手コンサルを受けて



栃木県開拓農協と農林中央金庫は3月21日、栃木県那須塩原市の同農協本所の会議室において、「担い手コンサルティン グ最終報告会を開いた。

今回、同コンサルを受けたのはイソシンファーム(肉牛、施設アスパラガス、水稲)で、関係者ら19名が参加した。

担い手コンサルティン グとは、会社の経営課題を分析し見える化したうえで解決策の提案を行う取り組み。同農協と農林中央金庫都宮支店がコンサルチームを結成、事前面談を含め半年にわたって

月1回打ち合わせを行い、分析を重ねてきた。磯進(いそしん)会長から孫の平久江(ひらひら)代表取締役へ経営承継を行うため、経営状況や各担当者の仕事内容など多項目を詳細に分析。会長が担当する仕事の引継ぎなどの問題点が挙げられていた。

利実(りみ)さんは他の開拓農家に向け、「かなり厳しい情勢の中で精一杯続けたい」と本紙に語ってくれた。

同番組で2度目の販売となった。

☆シヨップチャンネルからのオフアード実現の魅力

チクレンミートのコンビビーフを販売 テレビシヨップ番組で全国区へ



BS系列の全国ネットワークで24時間生放送されているテレビシヨップ番組「シヨップチクレンミート」の3月25日21時から放送で、(株)北海道チクレンミートの人気商品であるコンビビーフ、

「無塩せきコンビビーフ」が販売された。地元でも人気の商品となっており、前回の昨年夏に続き、

前回と同番組から1500セットの注文があり、1480セットを売り上げた。今回の放送では1700セットの注文があったという。

今回は、放送日は確定していないが、5月14日の週にも同番組での販売が決まっている。

チクレンミートでは現在、こうした取り組みをより進めていくため、コンビビーフ以外の商品も全国進出を目指したい考えだが、用意できる数量に限りがある。

「無塩せきコンビビーフ」は、北海道の開拓肥育農家が育てたブランド牛「キタウシリ」を使用しており、牛肉・牛脂・塩だけで作っている。食品添加物不使用の国産牛肉で作られた貴重なコンビビーフで、塩漬けした後熟成させ、旨味を引き出している。

そのまま食べても美味しいが、オムレットに入れたり、マヨネーズなどを入れてサンドイッチにするなど、アレンジレシピで頂くのもお勧めだ。

チクレンミートの親会社である北海道チクレンは、今年3月29日に、創立50周年を迎えた。

北海道の開拓農家が生産する美味しい牛肉が、このように様々な形で全国の人々の食卓に上ることを期待したい。

農場 拝見 カットワラで丈夫な腹づくり

宮崎県 えびの市 (株)重富畜産

2月に開催された「全開連九州ブロック開拓牛枝肉共進会」で、開拓交雑種牛の部で最優秀賞を受賞した(株)重富畜産(宮崎県)を訪ねた。

同農場は宮崎県えびの市の標高470mほどの尾八重野開拓にある。

日頃の飼養管理は、重富輝夫さんと息子の和幸さん、従業員1名で行っている。

入植は1960年で、65年頃から開拓牛の生産を始めた。初めは輝夫さんと妻の広子さんが10頭ほど導入し、飼槽に屋根を付け、あとは放牧という形から入り、開墾して土地を広げながら手作り牛舎を建てていった。当初は酪農家も多く、ホルスタインは安く導入できた。

しかし、オイルショックや牛肉自由化など、様々な情勢変化により、経営形態も変化し、現在は交雑種雌牛470頭を肥育している。

特色として、チモシー等の牧草にカットしたワラを育成時から攪拌(コンプリート)して給与しているので、食いつきも良く、第一胃の発達にもつながっている。



また、密飼いを避け、ゆったりとした管理をしているので、乾いた床でストレスが少ない環境を保っている。

配合飼料の前期から後期への切り替えまでは、配合を抑えて粗飼料を十分に食べさせる。和幸さんによると「体型はやや物足りないが、しっかりと腹づくりができれば、後半の伸びが非常に良く、ロース芯面積も大きくなる。雌の場合は特に、前半で濃厚飼料を与え過ぎると、皮下脂肪や内面脂肪が厚くなってしまおう」と話す。

出荷間近の牛の前軀や後軀のハリは充実している。

枝肉の結果を都度分析して、芯が小さい牛の治療歴を見て原因を探るな



上：解放感がある手作りの育成牛舎と重富輝夫さん(右)と和幸さん
左下：ハイセンスな看板 右下：すばらしい肉付きの交雑雌牛

ど、今後の管理に役立させている。

これまでに和牛の繁殖や経産肥育にも挑戦してきた。

堆肥作りも攪拌機を導入して、耕種農家に喜んでもらえるような良い肥料を作っている。重富さんちの堆肥を使えば他の肥料はいらん、との評判だ。

今後の展望については「今の状況で

あれば、まずは現状維持を保っていきたい。繁殖をやめた牛舎が空くので、100頭ほどの増頭にはなる予定」と語ってくれた。

和幸さんには湊ちゃん(10歳)と、仁くん(8歳)がおり、哺育の手伝いをしてくれるそうなので、将来が楽しみだ。

牛舎内作業を安全に行うために

関東地区研修会の発表から

ステップ3 保護具は最後の砦!

「重くてイヤだ」という方へ
最近のヘルメットは意外と軽い
軽作業帽(鋭い角などから防ぐ)なら230g~
女性用で320g~、通常ののもでも400g~

「ムシでイヤだ」という方へ
遮熱コーティングで10°低下
通気性UPで8~23°低下
ファン付き単3電池3本で8時間

ともに志藤氏の発表資料から

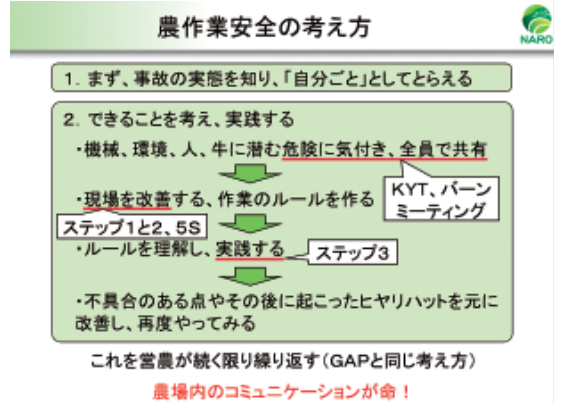
先月開催された、関東地区開拓営農推進協議会研修会から、農研機構の志藤氏の講演「牛舎内作業を安全に行うために」の内容の一部紹介したい。

講演では肉牛・酪農の事故事例を挙げ、事故防止のために取り組むべきことが解説された。事故を防ぐ手順として、①作業現場の危険源を取り除く②取り除けない危険源と人

を隔てる③安全な行動を遵守する一の3点を挙げ、これらに取り組むことで事故防止につながるというもの。

手順①・②では、柵などの破損している箇所の修繕や、滑りやすい・段差・狭い・暗い場所の改善例を紹介。また、飼養管理や畜舎環境を整えて家畜へのストレス緩和を図ることで、作業者の安全と収益向上を両立させられることが特に重要な点として挙げられた。

手順③では、最近の保護具(ヘルメット、安全長靴、プロテクタなど)は、お手頃価格で高性能なものを購入できることが紹介され、積極的な着用を推



奨した。一度事故に遭うと、入院による休業などで経営に深刻なダメージを与える。手遅れになる前に、事故を防ぐための安全対策をしっかりと行ってほしい。

新型赤色防虫ネットで防除

ネギアザミウマに効果

農業生産現場では、農業に頼らない防除技術が求められている。農業に代わる物理的防除技術として、「赤色防虫ネット」が生産現場に普及しつつある。しかし、減農薬技術としての十分な効果が得られているとはいえ、防除効果を示す仕組みも不明だった。

そこで京都府農林水産技術センター、東京大学大学院農学生命科学研究科と日本ワイドクロス㈱は、様々な色の織り糸を組み合わせた防虫ネットを

用いた室内・ほ場実験を行った。

ネギアザミウマは、ネギ・タマネギ・ミズナ・キャベツ・ナス・カキなどの野菜や果樹類を加害する。成虫や幼虫が葉を加害するだけでなく、ネギえそ条斑病の病原ウイルスも媒介する。

室内実験での同虫に対する侵入抑制効果は、織り糸の組み合わせが赤と黒、赤と赤で最も高く、従来の白と白のそれぞれ約1/14、1/8に抑制された。

新型赤色防虫ネット(赤と赤)をほ



ネギアザミウマ成虫(体長1.1~1.6mm)

場試験で実証した結果、同ネットをほ場全体に被覆した場合、同虫の発生密度はネットを被覆しない場合の約1/10に抑えられ、ほ場を同ネットで囲った場合でも約1/2に抑制。その他の試験結果も合わせて、同虫の侵入抑制



赤色防虫ネットほ場試験

2枚の写真提供：京都府農林水産技術センター

には赤色繊維の使用率が重要であると結論づけた。

同グループは、研究で開発した新型赤色防虫ネットを活用することで、農業問題の解決や有機栽培の促進に寄与することが期待されるとしている。

「畝立て同時乾田播種機」登場 雨の日や乾きにくいほ場で活躍

日本は雨の国である。自給飼料を安定的に確保する上で、ほ場の湿害は解決が望まれる課題となっている。

農研機構は23年、湿害や雨に強さを発揮する「畝立て乾田直播機」を開発した。その概要を紹介する。

◇畝を立てて排水性確保

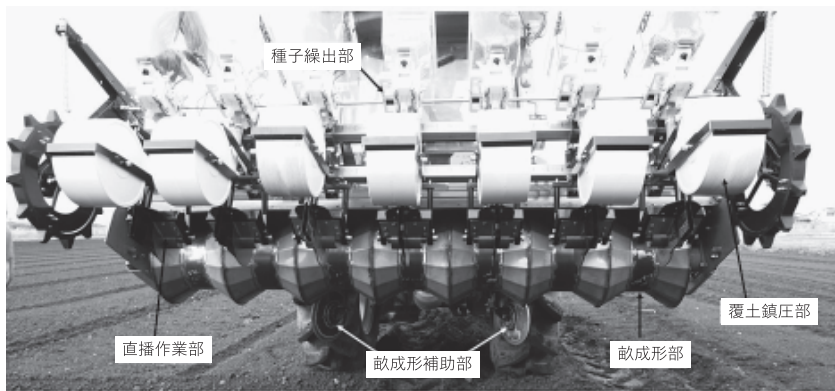
「畝立て乾田直播機」が誕生した九州では、ジャンボタニシ(=スクミリンゴガイ)が稲を食害する。タニシは水の深い場所を好むため、畝があることで食害から稲を守ることができる。

同機の構造は写真のとおり。「畝成形補助部」がトラクタの轍跡を消し、「畝成形部」で畝を作り、「直播作業部」で作溝して種を播き、「覆土鎮圧部」で覆土・鎮圧を行う。

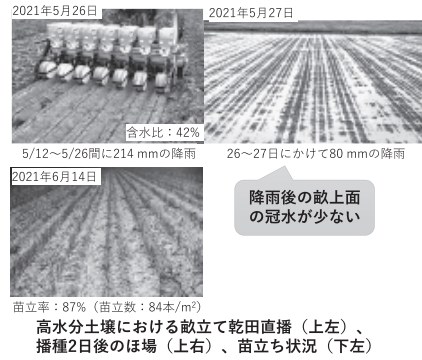
直播作業部は、付いている「スクレepa」が高精度なため、水分が高い条件でも種が播ける構造になっている。

畝成形部は、代かきハローのツメが付いている部分にそろばん玉状の「駆動鎮圧ローラ」が付いており、このローラがぐるぐると回転し、畝を作る。また、ローラ表面は「畔塗り機」の構造を応用しており、これが回転して硬い畝を作ることで、「水を止める=漏水を防止する」機能がある。

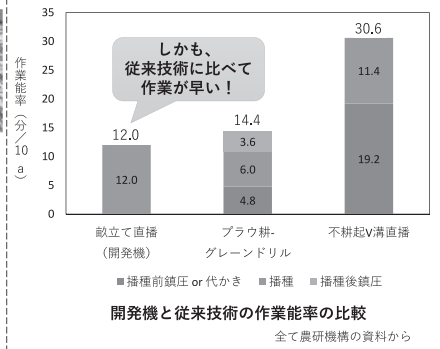
タニシ対策の畝を立てる技術が、雨の対策としても活きる。畝の山部分に種を播くことで、大雨が降り水に浸かっても、谷になっている部分が排水の溝になって早く排水され、湿害防止になるほか、水分が高い状態でも播種が行える。また、必要最小限の部品交換で飼料用米やWCS、主食用米・大豆・麦類の播種が可能。水稻の場合、3~4葉期には水を張る。大豆は畝のため乾燥害に注意が必要だが、現在同機構内で実施中の子実用トウモロコシの



畝立て乾田直播機の構造



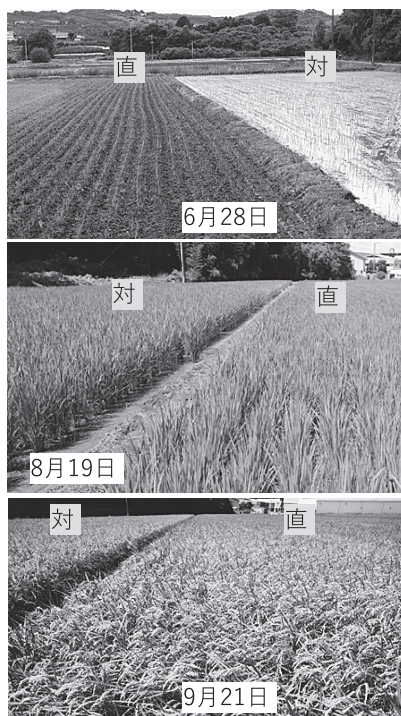
高水分土壌における畝立て乾田直播(上左)、播種2日後のほ場(上右)、苗立ち状況(下左)



開発機と従来技術の作業効率の比較

栽培では、固い畝のおかげで大雨の後倒伏を防ぐことができています。

実証試験では、熊本県玉名市で5月に214mmの降雨があった後に種播きを行い、種播き後も80mm程度の雨が降り滞水したが、湿害などは発生せず、苗立ち率も87%を得られた。6月と少し遅めに播いた実証試験も、対照区と同



等の収量が得られた。作業効率の図のとおり。現在普及している機械よりも短時間で行うことができた。

「直播きはウンカに弱い」が定説のデメリットだが、「ルミスパンス」という殺虫剤の登場で、ウンカ対策もしながら乾田直播を行える見通しが立った。雨が多い地域や水はけの悪い地域で自給飼料を確保する技術として活用したい。なお、同機の販売価格は300万円程度を予定しており、早ければ年内、来年の春前の販売を目指している。

乾田直播とは？

直播きは、「乾田直播」と「湛水直播」がある。湛水直播では、北上も問題となっているタニシの食害や種子コーティングのコストが課題となる。

乾田直播では、通常の水稲の育苗・代かき・田植えの作業が不要。

なお、畝立て乾田直播技術は乾いた土壌には向かないため、大規模で乾いた土壌では「プラウ耕鎮圧体系技術」、小さな面積で乾田直播に挑戦したい初心者の方には「振動ローラ式乾田直播技術」がおすすめである。

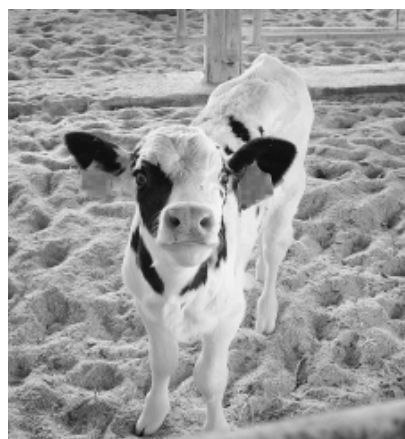
初産での乳用種種付けで難産減 F₁子牛の生産も計画的に

(独)家畜改良センターは、初産の乳用牛に黒毛和種よりも乳用種を種付けした方が難産率が低くなる可能性があることを公表した。

従来、多くの酪農家が初産分娩時の事故を避けるため未経産牛に和牛精液を種付けしてきたが、和牛精液の種付けによる分娩事故防止の効果は小さくなっている。

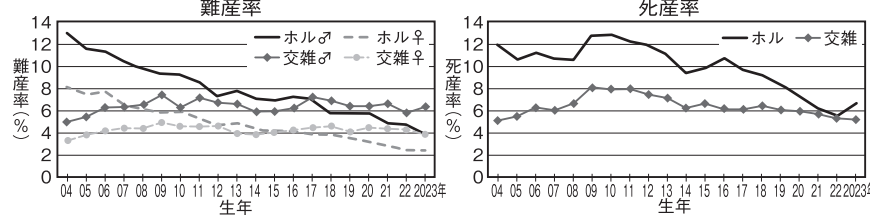
これは、ホルスタイン種の母牛の分娩形質の改良と産まれてくる子牛の改良により、乳用種の初産子が小型化した反面、黒毛和種初産子が大型化していることが要因となっている。

F₁産子は酪農家の貴重な収入源であるため、後継牛を残したい初産の母



牛には乳用種を付けるが、経産牛やゲノム評価の低い母牛には小さく生まれる血統の黒毛和種を付けてF₁産子を得ていくなど、計画的な種付けを行うことが重要となる。

初産分娩時の難産率および死産率の表型値の推移



(独)家畜改良センターの資料から

飼料用米普及シンポジウム開催 消耕畜連携の取り組みを紹介

(一社)日本飼料用米振興協会は3月25日、「第10回飼料用米普及のためのシンポジウム2024」を開催した。「生活クラブ生協」に鶏肉・鶏卵などを供給している山口県山口市の(株)秋川牧園が、「飼料用米という農業革命」と題して、日頃の取り組みについて発表を行った。

■成功のカギは「ほ場視察会」

同園は地元の飼料用米生産者と契約して集荷を行い、加工は商社に委託している。年2回、同園と契約している生産者を対象に、ほ場視察会を15年間継続して行っている。この取り組みは高い効果を発揮しており、栽培技術などの情報の共有ができる。また、他人に見せる意識で管理をするため、良質な飼料用米を確保することに役立っているという。

視察は、朝6時半から19時半まで各飼料用米ほ場を順番に回っていく。30



(株)秋川牧園の資料から

台ほどの車が列をなして見学をして回るため、年に2回の地域の風物詩にもなっている。

■消耕畜連携で持続可能な農業

実際に飼料用米を見て回ることで情報の交換ができ、ネットワークが広がる。同園では、種子の外販にも取り組むなど積極的に飼料用米の利用拡大に取り組んでいる。

同園は消費者と畜産農家と飼料用米生産者(耕種農家)の連携で持続可能な農業を展開している。このことは、生活クラブに食材を供給する側の共通の誇りとなっている。

雇入れ時教育、農業も全項目義務化 罰則あり、事業者はご注意を

(一社)日本農業機械化協会は3月22日、東京都中小企業会館で「23年度農作業事故防止中央推進会議―労働者安全対策と農業機械利用」を開催した。同協会の気多技術顧問から「雇入れ時教育」について発表があった。重要な情報であるため、紹介する。

事業者は、労働者が安全に農作業を行うために必要な知識の取得に向け、労働者に安全衛生教育を行う必要がある。労働安全衛生法では、1日でも人を雇えば事業者(雇用主)は以下の教育の実施が義務付けられている。

- ①機械等、原材料等の危険性・有害性・取扱い方法
- ②安全装置、有害物抑制装置、保護具の性能・取扱い方法
- ③作業手順
- ④作業開始時の点検
- ⑤業務に関して発生するおそれのある

- る疾病の原因・予防
- ⑥整理、整頓及び清潔の保持
- ⑦事故時等における応急措置・退避
- ⑧その他当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項

このうち、①～④はこれまで農業分野においては免除されていたが、4月1日から免除規定が廃止され、全業種で義務化された。違反した場合、50万円以下の罰金が科される。

これを受け、農水省は労働者向けの教育用リーフレットと事業者向けのテキストを作成し、同省のHP上で公開している。事業者向けテキストに記載された全12項目は図の通り。

また、これら以外にも、フォークリフトなどの機械を運転する場合、特別教育が義務付けられている。厚労省に「農業機械の安全対策に関する検討会」が設置され、特別教育を含む安全対策

教育対象となる12項目

①使用する機械・設備の危険個所を確認	②使用する資材などの有害性を確認	③刈払機の取り扱いには、作業の安全に配慮した服装・保護具着用
④農薬散布には、作業の安全に配慮した服装・保護具着用	⑤高所作業による墜落が多発している	⑥転倒災害など乗用型トラクター等による災害が多発している
⑦機械は必ず作業開始前に点検し、併せて定期的に検査する	⑧重量物運搬や不自然な姿勢の作業は腰痛の原因になる	⑨炎天下やハウス内での作業は熱中症に注意
⑩4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動で働きやすく安全な環境を	⑪蜂やムカデなどにさらされたらすぐに処置を	⑫けがをした時は必ず責任者へ報告

農水省の資料を元に作成

等の検討が現在進められている。新たな規制対象として、乗用型トラクター、コンバイン、スピードスプレーヤー(農薬散布に使用)、農用高所作業機、農

用運搬車が挙げられており、検討会の結論次第では、これらの機械も特別教育などが義務化される可能性がある。今後の動向に注目したい。

23年産 飼料作物面積1%減 青刈りトウモロコシのみ増加



農水省は3月8日、「23年産飼料作物の作付(栽培)面積及び収穫量」を公表した。全国の飼料作物全体の作付面積は、前年より減少した。

全国の飼料作物全体の作付面積は101万8000haで、前年産に比べ8000ha(1%)減少した。田畑別では、田が4300ha(1%)減の28万6600ha、畑が4100ha(1%)減の73万1000haだった。

なお、作物(栽培)面積については、全都道府県を含む合計値。収穫量については、能登半島地震により推計に必要な調査票の回収ができなかった石川県を除いた各都道府県の合計値である。10a当たり収量についても、石川県を除いた作付(栽培)面積及び収穫量の値で算出した結果だ。

【牧草】

作付面積は6200ha(1%)減の70万5200ha。10a当たり収量は3400kg、収穫量は2395万1000tとなった。都道府県別の収穫量割合は、全国の

71%を北海道が占め、次いで鹿児島県・岩手県・宮崎県がそれぞれ4%となっている。

【青刈りトウモロコシ】

作付面積は、900ha(1%)増の9万7200ha。10a当たり収量は5090kg、収穫量は493万9000tとなった。

都道府県別の収穫量割合は、全国の67%を北海道が占め、次いで栃木県が5%、宮崎県・岩手県がともに4%となっている。

【ソルゴー】

作付面積は、他作物への転換などがあつたことから300ha(2%)減の1万1700haとなった。10a当たり収量は4250kg、収穫量は48万8900tだった。近年、作付面積と収穫量は減少傾向で推移している。

都道府県別の収穫量割合は、宮崎県23%、長崎県17%、鹿児島県13%、大分県・熊本県がともに7%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

乳用種での発動続く 牛マルキン2月分

農畜産業振興機構は4月9日、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価(24年1月分、概算払)を公表した。

乳用種で標準的販売価格が標準的生産費を下回ったため、交付が行われる。

肉専用種は39都道府県で発動した。なお、交雑種は昨年12月分から3ヵ月連続で発動していない。

交付金単価(1頭当たり)は、乳用種が1万2247.4円(前月は9112.7円、確定値)となっている。

前月分と比べると、乳用種は販売価格が低下したため交付金は増額した。

不耕起播種・栽培技術の手順書公開 関東以西のスーダングラスで

九州など温暖な地域では、一年を通して同じほ場に2種類の異なる飼料作物を作付けする二毛作が普及している。しかし、夏作では梅雨などの天候の制約を受け、播種作業の期間が限定されて作業が計画通りに進まず、収量安定化などを阻害している。そのため、効率的に播種作業ができ、安定的な収量確保と周年栽培が期待できる省力化技術の開発が求められていた。

農研機構は、スーダングラスを対象に、播種作業を大幅に省略した不耕起栽培技術を開発し体系化。不耕起栽培適性や市販の不耕起播種機を利用した作業方法などをまとめた技術マニュアル

を公表している。今般、さらに普及させるため、経営的な導入効果の事例を新たに加え、導入に必要な機材・手順・雑草対策のほか、作業の省力化効果などを詳細に解説した標準作業手順書を作成・公開した。

現地実証試験の事例では、一定期間中の播種可能面積は耕起栽培に対して2倍以上に拡大。作業時間は56%削減、軽油消費量は74%削減、不耕起栽培であっても慣行より多収になるなど経営的効果が認められている。

同機構は本技術により、スーダングラスの作付面積拡大や生産ほ場の年間収量増加が期待できるとしている。

乳用牛への黒毛和種交配43.1%に増加 性選別利用割合は減少

(一社)日本家畜人工授精士協会は、23年第4四半期(10~12月期)の「乳用牛への黒毛和種の交配状況について(速報)」を公表した(下表)。

黒毛和種の交配割合は全地域で前期よりも減少した。

なお、性選別精液(乳用雌)の利用割合(全国平均)は21.1%と、前期より0.4%増加した。

地域	延べ人工授精頭数	黒毛和種授精数	黒毛和種の割合(%)	黒毛和種交配割合前期比(%)	黒毛和種交配割合前年同期比(%)
北海道	251,752	69,402	27.6	▲1.7	▲2.5
東北	9,126	3,620	39.7	▲4.2	▲3.3
関東	16,995	9,329	54.9	▲4.3	▲3.3
東海	5,309	3,643	68.6	▲3.9	9.9
北陸	898	524	58.4	▲6.7	▲6.3
近畿	3,992	2,682	67.2	▲8.2	▲3.3
中四国	4,898	3,674	75.0	▲3.4	6.4
九州	5,867	3,941	67.2	▲5.0	▲3.4
都府県	47,085	27,413	58.2	▲5.2	▲1.5
全国	298,837	96,815	32.4	▲3.2	▲2.2

(一社)日本家畜人工授精師協会の資料から作成

別海高校が甲子園を開拓 日本一の酪農地帯から初出場

第96回選抜高校野球大会が開催され、3月20日に北海道立別海高校が21世紀枠で初出場を果たした。昨秋の全道大会でベスト4に進出し、見事に甲子園への切符を手に入れた。

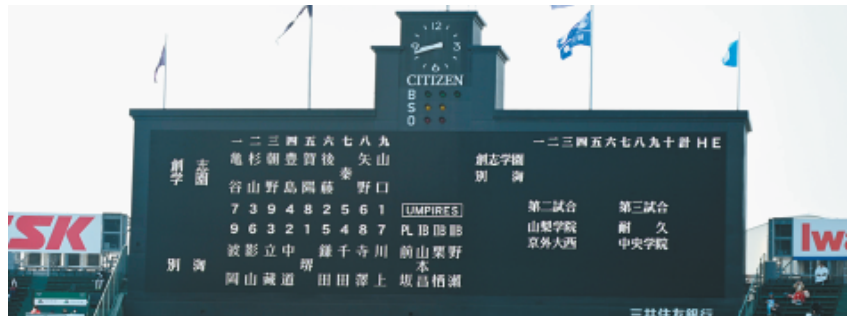
別海町は道東にある生乳生産量日本

一の酪農地帯だ。乳牛の数は町の人口1万4千人の8倍を超える。また、この地には多くの開拓地があり、皆で研鑽を積んでいる。

野球部員には家業が酪農という子もおり、酪農経営科で学ぶ生徒もいる。



勢いよくとび出し、戦いに挑む別海ナイン



冬場は0℃未満の日が長く続くことから、練習は近所の農業用ビニールハウスを借りて行っている。

試合当日、甲子園の3塁側アルプススタンドには、別海高校の応援団が大挙して陣取り、大きな声援を送った。

しかし、やはり甲子園は厳しかった。対戦した創志学園(岡山)に前半は粘りの守備で対等に戦っていたが、惜しくも0-7で敗れた。

甲子園の開拓は始まったばかりだ。



上：甲子園に刻んだ「別海」
下：大応援団に挨拶する野球部員

牛枝肉

ゴールデンウィークにむけF₁が活発な動き

新年度となり、ゴールデンウィークに向けて活発な動きを見せるはずの時期であるが、4月中旬になっても大きな相場の動きは見られない。

F₁については、和牛の代替え需要等もあり、B3で1600円を超える動きとなっている。和牛より動きは活発だが、頭数が少ないこともあって堅調な推移となるか。

【乳去勢】3月の東京食肉市場の乳牛去勢B2の税込み枝肉平均単価(速報値)は、877円(前年同月比94%)となり、前月より32円上がった。

4月に入っても、大きな動きは見られないが、下旬からは引き合いが強くなりそう。

【F₁去勢】3月の東京食肉市場の交

雑種去勢の税込み枝肉平均単価は、B3が1546円(同107%)、B2が1436円(同112%)だった。前月に比べ、B3が1円、B2が20円上がった。

【和去勢】3月の東京食肉市場の和牛去勢の税込み枝肉平均単価はA4が2179円(同97%)、A3が2003円(同101%)だった。前月に比べ、A4が76円、A3も56円下がった。4月に入っても、A4で2200円前後での推移となっている。

【輸入量】農畜産業振興機構は4月の輸入量を総量で4万4100t(同65%)と予測。内訳は、冷蔵品1万7000t(同81%)、冷凍品が2万7100t(同58%)。冷凍品は国内需要が低迷する中、現地相場の高騰等による米国産輸入量の大幅な減少が見込まれる。

【出荷頭数】4月の出荷頭数は、和牛4万6000頭(同106%)、交雑種2万

2900頭(同97%)、乳用種2万6100頭(同103%)と、F₁のみが前年を下回る出荷頭数となる見込み。

向こう1ヵ月の東京市場の税込み枝肉平均単価は、乳去勢B2が850~950円、F₁去勢B4が1650~1750円、同B3が1550~1650円、同B2が1450~1550円、和牛去勢A4が2150~2250円、同A3が2000~2100円での推移か。

豚枝肉

国産への需要が強まり活発な相場が続くそう

3月の東京食肉市場の豚枝肉税込み平均単価は、上物が549円(前年同月比96%)、中物は523円(同94%)となった。前月に比べ上物が45円、中物が51円それぞれ下がった。年度末ということで、荷動きがやや低下したことによる。

4月に入り、動きが活発になってきており、500円台後半での相場展開となっている。輸入が為替や物流の遅れなどで不安定なこともあり、国産需要は

畜産物需給見通し

安定している。

農水省の肉豚生産出荷予測によると、4月は143万頭(前年同月比108%)で、前年より増加する見込み。

農畜産業振興機構の需給予測によると、4月の輸入量は総量で7万8300t(同72%)と、前年よりかなり減少する見込み。内訳は、冷蔵品3万2400t(同97%)、冷凍品4万5900t(同60%)。冷凍品は、北米産の現地相場高などから、前年同月を大きく下回る見込み。

これからゴールデンウィークを控え、輸入量も伸びないことで、国産への需要は強含みの展開となりそう。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み平均枝肉単価は、上物が550~650円、中物も500~600円で推移か。

取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が15万5196円(同100%)、F₁去勢は35万8477円(同98%)だった。前月に比べ乳去勢は2万812円、F₁去勢も2万2852円下落した。

乳去勢は枝肉相場が軟調なことから、素牛価格も弱もちあいでの推移か。

F₁去勢は前月より下落したものの、和牛からのシフトや頭数減もあり、需要が増えてきており、強もちあいの展開が予想される。

【和子牛】3月の和子牛去勢の全国1頭当たり税込み平均価格(同)は、63万9613円(同93%)で、前月より1万2135円上昇した。

和牛の枝肉相場は軟調で、肉牛農家の導入は抑え気味の状況が続くそう、弱もちあいの展開が予想される。

3月の子牛取引状況

(頭、kg、円)

ブロック名	品種	頭数		重量		1頭当たり金額		単価/kg	
		当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
北海道	乳去	565	418	307	302	158,096	162,266	515	537
	F ₁ 去	2,135	1,947	333	331	358,545	385,155	1,077	1,164
	和去	2,361	2,188	330	332	684,603	667,666	2,075	2,011
東北	乳去	1	-	127	-	27,500	-	217	-
	F ₁ 去	1	3	245	246	190,300	144,833	777	589
	和去	2,757	2,032	318	318	613,387	600,988	1,930	1,890
関東	乳去	1	80	210	316	67,100	283,882	320	897
	F ₁ 去	175	156	336	345	333,545	361,816	992	1,049
	和去	727	870	327	316	682,360	658,599	2,087	2,084
北陸	乳去	-	-	-	-	-	-	-	-
	F ₁ 去	-	-	-	-	-	-	-	-
	和去	58	94	307	277	617,290	543,248	2,011	1,961
東海	乳去	1	2	287	252	74,800	43,450	261	172
	F ₁ 去	63	49	307	312	350,307	367,333	1,142	1,177
	和去	464	219	281	266	702,061	704,337	2,495	2,643
近畿	乳去	-	-	-	-	-	-	-	-
	F ₁ 去	-	-	-	-	-	-	-	-
	和去	415	358	270	266	889,768	932,188	3,294	3,510
中四国	乳去	37	42	296	283	119,513	113,614	404	402
	F ₁ 去	241	217	324	322	370,645	384,219	1,145	1,194
	和去	973	528	312	305	578,105	579,648	1,851	1,899
九州・沖縄	乳去	2	-	270	-	144,100	-	534	-
	F ₁ 去	411	407	324	320	363,265	372,389	1,122	1,163
	和去	10,601	8,153	299	299	626,723	608,616	2,094	2,033
全国	乳去	607	542	305	302	155,196	176,008	509	583
	F ₁ 去	3,026	2,779	331	329	358,477	381,329	1,083	1,159
	和去	18,356	14,442	307	307	639,613	627,478	2,083	2,044

注：(独)農畜産業振興機構の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。-は上場がなかったことを示す。関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。

素牛 スモール

F₁子牛の需要が高まり、相場は強もちあい

【スモール】3月の全国24市場の1頭当たり税込み平均価格(農畜産業振興機構調べ、月末の取引結果を除く暫定値)は、乳雄が4万9843円(前年同月比98%)、F₁(雄雌含む)は10万6632円(同104%)となった。前月に比べ、乳雄は3294円、F₁も1万7068円上昇した。

乳雄は頭数が減少傾向にあるが、枝肉相場が停滞しているのでもちあいか。F₁は枝肉相場がやや上昇傾向にあり、和牛からのシフトの動きもみられるので、強もちあいとなりそう。

【乳素牛】3月の乳素牛の全国1頭当たり税込み平均価格(左表、月末の